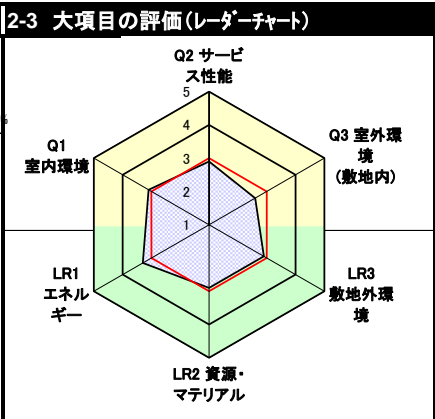
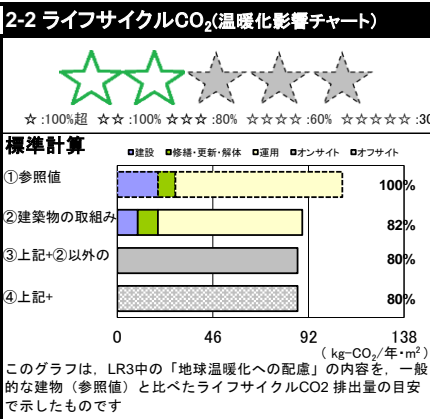
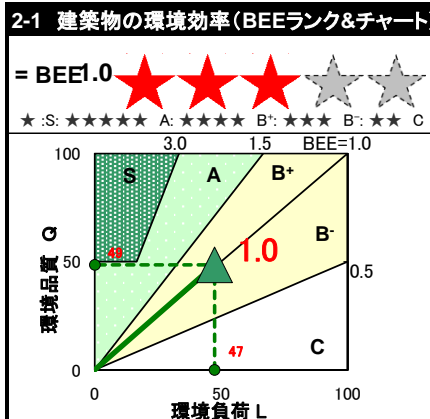


CASBEE® 京都-新築

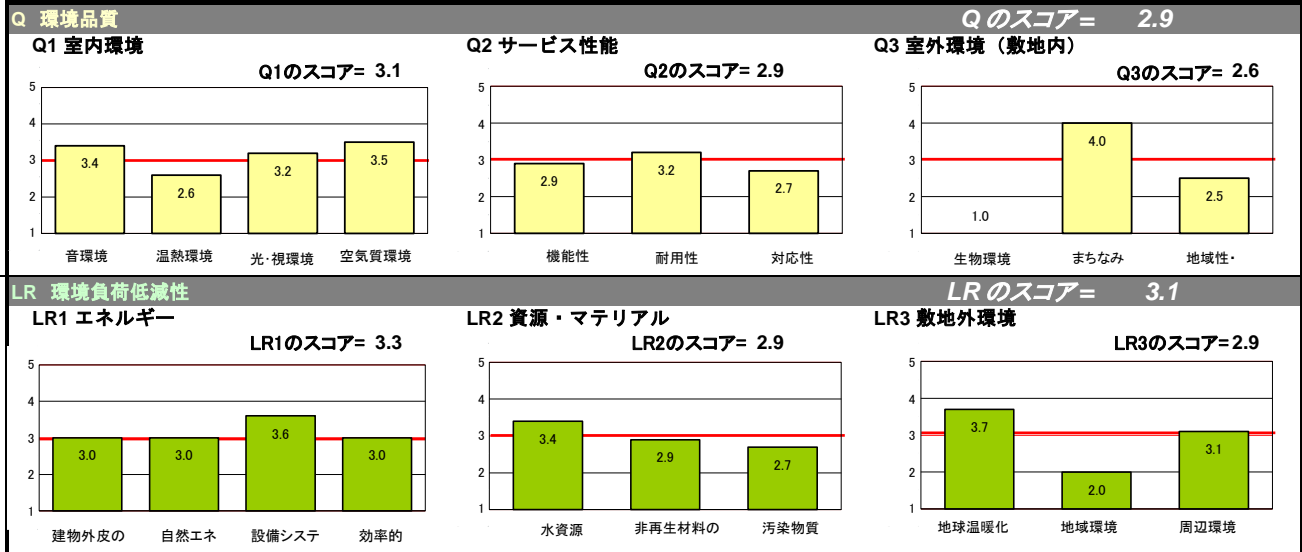
標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2015年版） | 使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2015（v.1.0）

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 藤本町共同住宅 新築工事	階数	地上11F 地下1F
建設地	京都市中京区油小路通四条上る藤本町549番	構造	RC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	116 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2017年10月16日
敷地面積	611 m ²	作成者	DA総合計画
建築面積	344 m ²	確認日	2017年10月16日
延床面積	3,046 m ²	確認者	DA総合計画



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合		その他
太陽光パネルの設置と建物の長寿命化を目指した		なし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
部屋に対して大きく開口をとりながら、遮音性も守っている F☆☆☆☆建材の使用	部品・部材は補修必要間隔の長いものを使用している	美観地区認定を取得している
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
太陽光パネルの設置	節水器具の利用	駐輪場・駐車場を確保している

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される